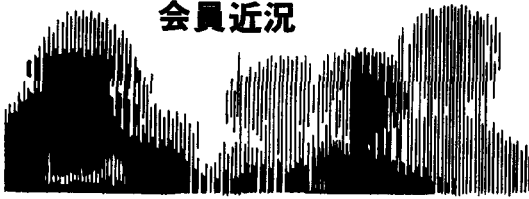


会員近況



国鉄本社旅客局開発企画課 内堀 光正

理論以前のこと？ 仕事柄いろいろな予測をやります。最近いちばん心をくわしているのは、この予測結果を相手にいかにわかってもらえるかということです。前近代的と考えられる方もあると思いますが、企業での予測は過去においてそれが当たったかどうかの評価の基準となります。当然ない予測では意思決定に使おうという気持ちも出てこないようです。その予測がかなり使えそうだという信頼感をもってもらえるようになりますと、こんどは、その予測値が消費の動向とか市場構造の変化など周辺のもろもろの状況にいかに合致し、かつ、もっともらしいかを説明します。つまり若干の自画自賛をやるわけですが、しかし、これも実体感のない方にはなかなかわかってもらえません。なるべく相手の言葉でと思いますが馬の耳に念仏となったり釈迦に説法となることもしばしばのようです。また、この予測値が意思決定者の意思と感覚にあっていればよいのですが、そうでない場合も多く、その時にはモデルの前提条件や仮定、考え方を説明が必要となりますし、たまには方法論の適用限界までもわかってもらわなければならない場合もあるようです。モデルも必要最小限のなるべく簡単なモデルをと心がけていますが、なかなかむずかしいものです——理論以前のことも知れませんが。

東京工業大学 大学院社会工学科 浦谷 規

新春の白昼夢 IAEA(国際原子力委員会)の副総裁垣花秀武教授(東工大)のご紹介で、オーストリアの IIASA(国際応用システム分析研究所)においてエネルギー問題研究を終え帰国しました。IIASA ではエネルギー・プロジェクトに属し、リーダーの Häfele 氏のあの巨大な体軀からの push をかわしうる guest scholar という身分で約2年間おりました。IIASA は世界のエネルギー

ー研究の会議センター的位置にあるため、種々のモデリングの試みに接する機会に恵まれましたが、そのほとんどがシステムとしての自己矛盾を少なからず含んでおり、そのうえ敬語の煩わしさのないことも手伝って議論のやりとりの楽しさを味わう機会にも恵まれました。

逆に「日本のエネルギー需要」と題して研究成果をまとめ発表した時には、このため少々余計に気を使ったりもしました。

もう一つ特記すべきことは、IIASA での UNIX という計算機のオペレーティング・システム(とくに shell program の単純さ)の楽しさも覚えたことです。現在大学で使い始めた TSS コマンドの煩雑さには驚き、少々当惑しています。UNIX を身近で使いたいと思い、IIASA の computer 部長に日本見聞を兼ね、折をみて setup にくるように頼んできたものの、導入に最少限必要な道具類の入手に手こずっています。新春の初白昼夢は UNIX の多様性の威力を理解している人々が集まり、きわめて生産性の高い研究所を作るといことです。

埼玉大学大学院 政策科学研究科修士課程 藤田 修一

政策科学研究科へどうぞ 昨年(1978年)3月に神戸商科大学管理科学科を卒業し、現在埼玉大学大学院政策科学研究科に在籍しています。本研究科は一昨年充足したばかりで、われわれは第2期生となるわけです。まだ一般にはよく知られていないと思いますので、パンフレットから主観的に引用してPRしたいと思います。

「政策科学」は、政策ないし問題志向型の、社会科学における新しい型の学際研究であり、本研究科は日本で初めての政策科学専攻大学院であります。カリキュラムはモザイク的寄せ集めに終らぬよう体系的に構想され、その基本的構成も、欧米における政策科学大学院のカリキュラムとわが国の大学における諸状況などを勘案して構想され、基盤的知識、コア・コース、セミナー・ワークショップ、実習、論文制作という一連の基本構成は、わが国では最初の本格的学問訓練の試みであります。また社会人にも広く門戸が開かれているということも大きな特徴です。

これらの構想がどのように生かされ、どのような成果が得られるかはまだ何年もたってみないと分かりませんがわれわれがパイオニアであるという自負をもって頑張っていきたいと思っています。